

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

R7年 7月 31日

(宛先)
滋賀県知事

提出者
住所(法人にあつては、主たる事務所の所在地)
滋賀県大津市松本一丁目 2-20
滋賀県農業教育情報センター4F
氏名(法人にあつては、名称および代表者の氏名)
公益財団法人 滋賀県スポーツ協会
会長 河本 英典

滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第3項→第25条第4項
第27条第1項→第27条第2項において準用する同条例
第26条第1項
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

第25条第4項の規定に基づき、
[事業者行動計画を策定(変更)]
[事業者行動報告書を作成]したので、提出します。

| | |
|---------------------------------|----------------------------------|
| 事業者の氏名 (法人にあつては、名称および代表者の氏名) | 公益財団法人 滋賀県スポーツ協会 会長 河本 英典 |
| 事業者の住所 (法人にあつては、主たる事務所の所在地) | 滋賀県大津市松本一丁目 2-20 滋賀県農業教育情報センター4F |

1 事業所の概要

| | | | | | | |
|------------|---|---|--------|----|------|------------------------|
| 事業所の名称 | 滋賀県立栗東体育館 | | | | | |
| 事業所の所在地 | 滋賀県栗東市上鉤514 | | | | | |
| 主たる事業 | 日本標準産業分類 細分類番号 | 8 | 0 | 4 | 2 | ※ 産業分類・細分類名称を記載 体育館 |
| 事業の概要 | 体操専門体育館の管理・運営 | | | | | |
| 従業員の数 | 7 | 人 | 操業時間 | 13 | 時間/日 | |
| 該当する事業者の要件 | <input type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロリットル以上の事業所を県内に有する事業者 | | | | | |
| | <input type="checkbox"/> 従業員数が21人以上であつて、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者 | | | | | |
| | <input checked="" type="checkbox"/> 任意提出事業者 | | | | | |
| 主要な設備 | ボイラ | 台 | 熱源設備 | 台 | 照明設備 | 24 台 |
| | コンプレッサ | 台 | 空気調和設備 | 台 | その他 | |

2 計画期間(および報告対象年度)

| | | | | | |
|------|------|------|----|--------|----|
| 計画期間 | 開始年度 | 2025 | 年度 | 報告対象年度 | 年度 |
| | 終了年度 | 2031 | 年度 | | |

3 計画の(内容・実施状況)

| | |
|--------------|--------|
| 計画の(内容・実施状況) | 別添のとおり |
|--------------|--------|

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

1 CO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

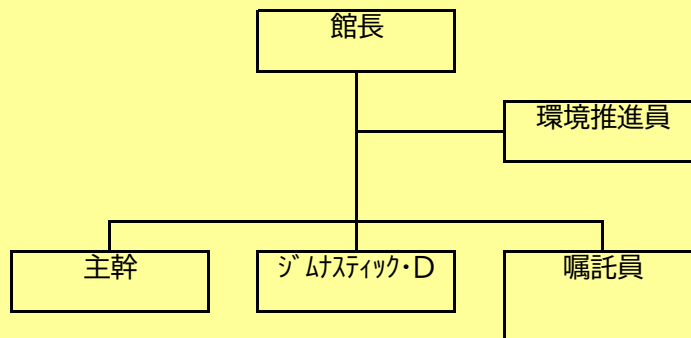
スポーツを通じて県民に夢と感動を与え、県民のスポーツ活動を推進する団体として、環境への取り組みを高い意識をもって進めるとともに、法令の遵守や汚染の未然防止はもとより、環境保全活動を定期的に見直し継続的に改善に務めます。

行動指針

1. 滋賀県グリーン購入基本方針に基づく物品の調達および環境対応推奨品を優先的に使用します。
2. 水・電気・ガス機器等の適正使用を徹底し、省資源・省エネルギーに務めます。
3. 廃棄物の削減とリサイクルの推進により、ごみの減量化に務めます。
4. 科学物質使用量の適正な管理に務めます。
5. 全職員等が方針の周知と意識向上を図ることはもとより、環境負荷の提言あるいは行事参加者や来館者に環境活動の啓発に務めます。

2 取組の推進体制

環境推進委員を選定し組織的に環境経営に取り組む



3 これまでに取り組んできたCO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組

施設内設備について

- ・ 施設内照明のLED化を進めている(トレーニング室のLED電球交換)
- ・ デマンド装置による最大電力使用量の制限
- ・ 点検巡視時のエアコン設定温度の調節
- ・ 使用していない更衣室の消灯

その他の取り組み

- アリーナ照明機器の照度管理による電力使用量の制御
- クールビズやウォームビズによる事務室冷暖房機器の使用量削減
- 外出時に自転車の利用
- ミス印刷、コピーの防止と裏面利用の促進

(第2面)

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

| | 取組項目 | 実施計画 | | 実績報告 |
|---|--------|---|----------|---------|
| | | 取組の内容 | 実施スケジュール | 取組の実施状況 |
| 1 | 運用改善 | 職員間で節電の意識を共有し、会議室及びトレーニングルームにおいては節電に関する掲示板等により、施設利用者にも節電を呼び掛ける。 | H7-11 | |
| 2 | ポイント改善 | 環境活動の取り組みをまとめた、作業マニュアルの作成。 | H7-11 | |
| 3 | 運用改善 | 6月～10月の期間においては、クールビズを推奨し、冷暖房機器の適正温度の励行に取り組む。 | H7-11 | |
| 4 | 設備導入 | 施設内外照明のLED化 | H7-11 | |
| 5 | | | | |

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

| | 温室効果ガスの種類 | 実施計画 | | 実績報告 |
|---|-----------|-----------------|----------|---------|
| | | 取組の内容 | 実施スケジュール | 取組の実施状況 |
| 1 | | 該当する取り組みはありません。 | | |
| 2 | | | | |
| 3 | | | | |

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

| 取組目標および目標設定の考え方 | 目標の進捗に対する自己評価 |
|--|---------------|
| 原油換算エネルギー使用量について、令和6年度の60を基準値とし、 令和7年度 48KL（工事を行うため） 令和8年度 59.75KL 令和9年度 59.5KL 令和10年度 59.25KL 令和11年度 59KL を目標に、 デマンドの管理や各部屋の節電、エアコン温度調整を行うことにより、 電気使用量削減に務めます。 | |

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

| | 計画開始年度前年度の実績 | 実績報告 | | | | | |
|-------------------------|-------------------|-------|-------|-------|--------|--------|--|
| | | (7)年度 | (8)年度 | (9)年度 | (10)年度 | (11)年度 | |
| 原油換算エネルギー使用量 | kL | 60 | | | | | |
| 温室効果ガス総排出量 | t-CO ₂ | 15 | | | | | |
| エネルギー起源CO ₂ | t-CO ₂ | | | | | | |
| 非エネルギー起源CO ₂ | t-CO ₂ | | | | | | |
| CH ₄ | t-CO ₂ | | | | | | |
| N ₂ O | t-CO ₂ | | | | | | |
| HFCs | t-CO ₂ | | | | | | |
| PFCs | t-CO ₂ | | | | | | |
| SF ₆ | t-CO ₂ | | | | | | |
| NF ₃ | t-CO ₂ | | | | | | |
| エネルギー等原単位の推移 | | | | | | | |

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

(第3面)

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

| | 実施計画 | | 実績報告 |
|---|-------|----------|---------|
| | 取組の内容 | 実施スケジュール | 取組の実施状況 |
| 1 | | | |
| 2 | | | |
| 3 | | | |
| 4 | | | |
| 5 | | | |

■ 中長期的な取組の内容等

| | 取組の内容 |
|---|-------|
| 1 | |
| 2 | |
| 3 | |
| 4 | |
| 5 | |

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

| | | | | | |
|-----------------------|----|--------|----|---------|----|
| 太陽光 | kW | 水力・小水力 | kW | 地熱 | kW |
| 太陽熱 | kW | バイオマス | kW | その他 () | kW |
| 再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績 | | | | | |

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

| | | 計画開始年度 前年度の実績 | 実績報告 | | | | |
|--------------|-----|------------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | | ()年度 | ()年度 | ()年度 | ()年度 | ()年度 |
| 再エネ電気設備での発電量 | kWh | | | | | | |
| 上記のうち自家消費量 | kWh | | | | | | |

(第4面)

6 事業活動を通じた他者の温室効果ガスの排出削減によりCO₂ネットゼロ社会づくりに貢献する取組

(1) 取組の内容およびその実績

| 取組の内容等 | 取組の実施状況 |
|--|-----------------------|
| R7年度、栗東体育館内アリーナの照明設備のLED化および冷暖房設備の更新を行います。 なお、暖房については、灯油をしようしたボイラー式から電気を使用したエアコンへ更新を行います。 | |
| | CO ₂ 削減貢献量 |
| | t-CO ₂ |

(2) 上記の取組により達成しようとする目標および目標設定の考え方

| 目標および目標設定の考え方 |
|---|
| アリーナ照明設備のLED化によって、1年間、2.6kwh削減します。 灯油式ボイラーから電気式エアコンに変更するため、1年間23kwhが増加しますが、灯油式ボイラを撤去する事により、1年間、9klの灯油使用を削減します。 |

(3) 上記の取組にかかる目標の進捗に対する自己評価およびCO₂削減貢献量の算出根拠

| 目標の進捗に対する自己評価 |
|----------------------------|
| |
| CO ₂ 削減貢献量の算出根拠 |
| |